

2014年12月22日掲載

歯周病ってどんな病気？

細菌感染により発症

歯周病は、細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患です。

歯と歯肉の境目（歯肉溝）の清掃が行き届かないでいると、そこに多くの細菌が停滞し（歯垢＝しこう、プラーク＝の蓄積）、歯肉の辺縁が「炎症」を帯びて赤くなったり、腫れたりします（痛みはほとんどの場合ありません）。

そして、進行すると歯周ポケットと呼ばれる歯と歯肉の境目が深くなり、歯を支える土台（歯槽骨）が溶けて歯が動くようになり、最後は抜歯をしなければいけなくなってしまいます。

歯周病の原因は、口の中に住む細菌です。

口の中にはおよそ300～500種類の細菌がすんでいます。これらの細菌は、普段はあまり悪いことをしませんが、ブラッシングが十分でなかったり、砂糖を過剰に摂取すると細菌がネバネバした物質を作り出し、歯の表面にくっつきます。これを歯垢といい、粘着性が強くうがいをした程度では落ちません。

この歯垢1ミリグラムの中には10億個の細菌が住みついているといわれ、むし歯や歯周病をひき起こします。その中でも歯周病をひき起こす細菌が特異的に存在していることが解明されています。

歯周病を予防するためには適切なブラッシングが重要です。歯科医院を受診し、お口の清掃とブラッシング方法のチェックを受けることをお勧めします。